

災害時に石綿（アスベスト）から身を守るために

地震災害や風水害によって、石綿（アスベスト）が使用されている建物や設備が倒壊、損壊の被害を受けると、石綿が含まれる建材が外部に露出し、また解体や補修の際には石綿が含まれる粉じんが飛散するおそれがあるため、ばく露を防止し、身を守る必要があります。

粉じんをできるだけ吸い込まないように、以下の点にご注意をお願いします。

- ・ 倒壊、損壊した建物やそれらの解体現場には、むやみに近づかないようにしましょう。また、石綿の可能性のあるものには触れないようにしましょう。
- ・ やむを得ず倒壊、損壊した建物に近づく場合や、がれきの片付けや災害で発生したごみを処分する際には、防じんマスクを着用しましょう。

スレート材などの片付けの際に石綿の飛散にご注意ください。

屋根や壁に使用されているスレート材などを片づける際には、石綿を含む建材が使用されていることがあるため、粉じんをできるだけ吸い込まないように、以下の点にご注意をお願いします。

- ・ 作業にあたっては、防じんマスクを着用しましょう。
- ・ スレート材などの建材を片付け、処分する際には、散水等により湿潤化し、粉じんが飛散しないようにしましょう。また、ハンマーでの破砕やカッターでの切断など、粉じんを発生させる作業は行わないようにしましょう。
- ・ やむを得ず破砕や切断を行う際には、十分に散水するなど湿潤化し、粉じんの飛散を防止しましょう。
- ・ 片付けを行う際には、スレート材などを袋に入れて、粉じんの飛散を防止しましょう。



スレート材の例

写真出典：災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル（環境省）